

令和3年度（令和2年度分）
教育に関する事務の管理及び執行の状況
点検・評価結果報告書

令和3年8月
玖珠町教育委員会

目 次

1	点検・評価の概要	・・・・・・・・・・P	1
2	令和2年度玖珠町教育委員会の重点方針	・・・・・・・・・・P	3
3	点検・評価一覧	・・・・・・・・・・P	11
4	事務管理の執行状況点検・評価基準	・・・・・・・・・・P	12
5	点検・評価調書の説明	・・・・・・・・・・P	13
6	事務管理の執行状況点検・評価調書	・・・・・・・・・・P	15

1. 点検評価制度の概要

(1) 経緯

平成18年12月に教育基本法が全部改正され、これに続き地方教育行政の組織及び運営に関する法律も、平成19年6月にその一部が改正され、平成20年4月から施行されました。

この法律の改正により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し公表することが義務付けられました。

(2) 目的

事務の点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

(3) 評価等の対象

評価等の対象は、毎年度策定している玖珠町教育行政の重点方針であり、各方針の具体的取組に目標指標を設け、達成率から総合的に令和2年度分の事務の管理及び執行状況について点検・評価したものです。

(4) 評価の方法について

重点方針の具体的な取組に目標指標を設け、客観的に事業の達成度が分かるようにしています。複数の具体的な取組の達成度を総合的に判断し、教育委員会の「自己評価」及び事務評価部会が行う「総合評価」で評価を行っています。

(5) 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、玖珠町総合教育審議会委員のうちから事務評価部会として3名の委員が専任されています。

○委員

部会長 久保喜延氏

岩田栄子氏

高倉真由美氏

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項に規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和2年度玖珠町教育行政の重点方針

令和2年4月

玖珠町教育委員会

令和2年度玖珠町教育行政の重点方針

教育行政の基調

『子どもたちに未来へのバトンを渡すために』

～ 少子・人口減少社会において地方創生を視野に入れた地域の活力を生み出す教育施策 ～

現在の教育環境を取り巻く状況は、人口減少と少子高齢化の進行、情報通信技術の進歩に加え、グローバル社会の発展などの社会状況に影響を受けて大きく変化しています。それにより、規範意識や道徳心の低下、更に価値観の多様化、家庭や地域の教育力の低下など、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。次世代を担う子どもたちが、心豊かで充実した生活を送るため、子どもたちの「生きる力」を育み、一人ひとりが思いやりや生きがいを持てる社会を実現させなければなりません。

そのために、玖珠町教育委員会では、これまで実施してきた学力向上施策やコミュニティ・スクールのさらなる充実などの取組みを推進し、玖珠町の教育行政を確かなものにするために、重点方針を定めて事業施策を展開していきます。

学校教育においては、新学習指導要領が本年4月から小中高順次に実施され、ポイントとなるのが「社会に開かれた教育課程」です。地域と連携し、玖珠町ならではの「ここだから学べる」「ここでしか学べない」様々な地域の人とかかわりあえる地域の特色を生かした学習等を、開発・導入していきます。

玖珠町第5次総合計画の基本理念に則り、「生きる力と思いやりの心を育む学校教育の充実」を目標に掲げ、「知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成」「家庭・地域に信頼され、協働して子どもを育む学校教育の推進」「学校間・校種間のきめ細やかな連携」を重点として様々な取組みを行うとともに、地域の高校への支援を行います。

社会教育においては、町民一人ひとりが生きがいを持てる暮らしができるよう学習機会の提供や、健康な体づくりのため、身近にスポーツに親しめる機会の充実、「協育」ネットワークを活用した総合的な子ども支援など、生涯学習の推進を図ります。

また、「童話の里」の根幹をなす「日本のアンデルセン」久留島武彦を顕彰する久留島武彦記念館を通して、久留島武彦精神（信じ合うこと、助け合うこと、違いを認め合うこと）を学ぶことをはじめ、大切な歴史的資源や文化財の保護・活用に努め、郷土の文化を大切にする町づくりを進めます。

さらに、互いの人権を尊重し差別のない明るい地域社会の実現を目指します。

玖珠町のまちづくりのテーマである「童話の里」づくりは人づくりです。人が生涯にわたって生き生きと暮らすためには、教育の果たす役割はきわめて重要です。学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら協働し、町民一人ひとりが夢を持ち、個々と地域の課題を掘り起こし、解決方法を探ることこそが「童話の里」づくりであるとの認識に立ちます。

今年度の重点方針

I 学校教育

1. 確かな学力の定着・向上
2. 豊かな人間性の育成
3. 心身の健康と体力の向上
4. 特別支援教育の充実
5. 開かれた学校づくりの推進
6. 安心・安全な学校づくり
7. 組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上
8. 「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり
9. 学校間・校種間の連携
10. 教育のICT化に向けた環境整備
11. 学校における働き方改革の推進
12. 地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営
13. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備
14. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進

II 社会教育

1. 地域の教育力の向上
2. 子どもと大人 家庭と地域での教育
3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
4. 久留島武彦精神を継承する環境の充実
5. 文化の創造と振興
6. 地域の歴史を学ぶ文化財の活用
7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

III 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実
2. あらゆる場における人権教育の推進

I 学校教育
<p>1. 確かな学力の定着・向上</p> <p>「第4次玖珠町学力向上推進計画」に基づき、教育行政、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を全うすることで、確かな学力の定着・向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育環境の整備 ○基礎学力の定着と向上
<p>2. 豊かな人間性の育成</p> <p>あいさつ、時間、言葉遣いなど基本的な生活習慣の徹底を図るとともに、道徳教育や人権教育を充実させることによって、自他を尊ぶ豊かな人間性の育成を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校と家庭の連携 ○特色ある学校づくりの推進
<p>3. 心身の健康と体力の向上</p> <p>町内全小・中学校において「体力向上一校一実践」の取組を継続的に行い、体力の向上に努めるとともに、栄養教諭の活用等を通して食に関する指導の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中学生の基礎体力の向上 ○望ましい生活習慣に繋がる食育の実施
<p>4. 特別支援教育の充実</p> <p>障がいのある子どもの能力や可能性を最大限に伸ばし、社会的自立に必要な力を養うため、就学前から関係団体との連携を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育支援員の配置等の校内支援体制の充実 ○個々に応じた指導体制の充実と学習環境の向上
<p>5. 開かれた学校づくりの推進</p> <p>「地域とともにある学校づくり」に向け、コミュニティ・スクール制度を活用し、学校、家庭、地域が一体となって信頼される学校づくりを目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○効果的な情報発信の検討 ○家庭、地域のニーズの把握 ○学校、家庭、地域が課題等を共有し、共通の目標に向け推進 ○学校、家庭、地域の連携・協働の充実 ○地域産業界と連携したキャリア教育、職業教育等の充実
<p>6. 安心・安全な学校づくり</p> <p>校内の安全体制の整備と防災教育及び交通安全教育等の充実、施設の維持管理等を行い、安心・安全な学校づくりに努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアルの作成と実行 ○通学路安全点検の実施と危険個所の解消 ○施設・設備の安全点検の徹底
<p>7. 組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上</p> <p>学校の教育目標達成に向けて組織的に取り組む学校運営体制を確立するとともに、互見授業や校内研修の充実及び研究推進校の指定や学校訪問等を通して、教職員の資質・能力の向上を図ります。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修や管理職による観察・指導の実施 ○各校教職員間の効果的な研修の実施
<p>8. 「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり</p> <p>玖珠町出身の先哲等に学ぶ学習を推進することを通して、郷土についての理解を深めるとともに、郷土を愛し、より良くしようとする態度の育成を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員への郷土を学ぶ研修の実施 ○副読本を用いた各小学校における久留島学習の定着
<p>9. 学校間・校種間の連携</p> <p>小学校とくす星翔中学校が連携し、中1ギャップ解消をはじめスムーズな中学校生活が送れるように取り組みます。また、小学校間の連携も強化しながら義務教育9年間の教育活動を見据えた指導内容の共有や学校間の交流促進に努めます。</p> <p>くす星翔中学校と玖珠美山高校との校種間連携や、玖珠町内のこども園や公立幼稚園と小学校との校種間連携を積極的に推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小小連携学習の実施 ○校種間等の連携事業の実施
<p>10. 教育のICT化に向けた環境整備</p> <p>文部科学省のGIGAスクール構想の実現として、学校における高速大容量のネットワーク環境（校内LAN）の整備を推進するとともに、全学年の全児童生徒が通信端末を持ち、十分に活用できる環境の実現を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内通信ネットワーク環境の整備 ○児童生徒1人1台への端末の整備
<p>11. 学校における働き方改革の推進</p> <p>学校における働き方改革の目的は、「教師がこれまでの学校教育の蓄積と向かい合っ自らの授業を磨くとともに、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること」です。これに基づき、学校における働き方改革の推進を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教師の働き方の実態を改革するという時間管理の視点での改善 ○子どもを取り巻く変化への対応のための「チームとしての学校」の機能強化の視点での改革
<p>12. 地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営</p> <p>地域に唯一の高校である県立玖珠美山高校の存続に向けた支援を行うとともに、同校生徒の進路達成に向けた支援に取り組めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報及び人材育成や部活動への支援 ○公営塾の効果的な運営
<p>13. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備</p> <p>「玖珠町幼児教育振興プログラム」に基づき、就学前教育環境の質の向上と充実を図ります。また、地域の実態をふまえた教育環境の整備に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認定子ども園と町立幼稚園の連携 ○就学前児童の就学への支援

○関係機関との連携と家庭教育支援
1 4. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進
<p>玖珠町で採れる新鮮で安全・安心な米や野菜などの食材を積極的に活用しながら、地域の農と食文化の素晴らしさを知り、郷土愛を育む取組みを進めます。</p> <p>食材費とのバランス関係にある給食費の滞納対策を強化します。</p> <p>学校給食センターの施設の更新・改修により、調理能力及び衛生管理を補強し安全・安心で美味しい給食の提供に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○郷土愛を育む地産地消の推進 ○新鮮で安全・安心である適正な食材確保 ○計画的な調理施設・設備・備品等の整備

II 社会教育
<p>社会教育基本計画（平成27年度から令和2年度まで）の3つの基本目標に沿った7つの重点方針により、本年度の社会教育施策を行います。</p> <p>【社会教育基本計画 基本目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人づくり 生きがいを育む社会教育の推進 ②体づくり 心と体の調和を図る社会体育の充実 ③心づくり 郷土の文化・歴史の学習、芸術創造力の育成
1. 地域の教育力の向上
<p>地域づくりの主役である大人自身が地域の持つ課題を認識し、主体的な生涯学習に対する意識を高めることで、地域づくりに参加・協働する雰囲気づくりを進めます。</p> <p>また、子ども達と共に学び世代間の繋がりを持つことで、子ども達が大人になってからも地域を発展させる力となるようにしなければなりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「協育」ネットワーク連携促進事業 ○世代に応じた各種学習活動の支援 ○地域の学習活動・拠点の支援
2. 子どもと大人 家庭と地域での教育
<p>家庭や地域での学びは、人間形成の基礎を養う大切な役割を担っています。学習機会の充実を図ることにより各家庭の教育力の向上に繋げると共に、子ども達には、地域での交流や体験を通じた活動で、学び・考え・行動するといった人格を養う環境づくりをしなければなりません。</p> <p>子どもの健全育成のためには、家庭・地域・学校と連携を図る必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青少年健全育成協議会への支援 ○わらべサークル協議会への支援 ○児童文化の担い手の育成 ○家庭教育に関する講演会の実施
3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
<p>心身ともに健康で充実した毎日を過ごすためには、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむことが重要です。</p> <p>活動団体及び指導者の育成及び競技力向上の支援、体力向上・健康増進に関する情報や学習機会の提供をしていく必要があります。</p>

- スポーツ少年団活動の充実
- 総合型地域スポーツクラブ（童里夢スポーツクラブ）の育成
- すこやかスポーツ祭の実施

4. 久留島武彦精神を継承する環境の充実

「童話の里」の根幹をなす日本のアンデルセン・久留島武彦の偉業やその精神を後世に伝えるため、各年齢層に合った学習環境を充実します。久留島武彦の幅広いネットワークを生かせるような企画を試み、記念館を通じた調査・研究の成果を町民と共有することで、半世紀以上の歴史を誇る「童話の里」づくりのさらなる発展を目指します。

- 日本童話祭の開催
- 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催
- 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催
- 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催
- 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供
- 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信

5. 文化の創造と振興

文化芸術の振興は、「童話の里」づくりにとって重要な取り組みです。文化の薫る感性豊かな町となるために、すぐれた文化芸術作品に触れる機会を充実し、理解を深め、親しめる環境づくりを行います。

- 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援
- 巡回音楽会の開催
- 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催
- 文化芸術に触れる機会の提供
- 久留島武彦記念館による企画展の開催

6. 地域の歴史を学ぶ文化財の活用

地域にある文化財を活用した、地域の歴史、地域の文化を学ぶ場の提供を行います。このことから、文化財の保護・保存・整備に取組み、地域づくりにつながる文化財の活用を行っていきます。

- 日本遺産発信推進事業
- 豊後森藩資料館の運営
- 角牟礼城跡の整備
- 旧久留島氏庭園の整備
- 指定文化財の保護や保存継承支援

7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

玖珠町は図書館を持たない県内2町村の内のひとつです。あらゆる年代層に生涯学習を保障するため、既存施設を活用した図書館サービス網を充実させるとともに今後の図書館サービスのあり方について関係各所と連携・協議を深めます。

- わらべの館の図書の実充
- くすまちメルサンホール図書室の充実と利用者の拡大
- わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携
- 各自治会館との連携・協議
- わらべの館移動図書館車の活用

Ⅲ 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実

各学校においては、平成30年度に策定した「部落差別解消のための人権・同和教育基本方針」に則り、人権教育に係る年間指導計画を作成し、学校の教育活動全体を通して意図的・計画的に人権教育を推進します。また、人権教育推進校の指定による研究成果の共有、人権に係る研修会への積極的な参加等によって、教職員の資質の向上を図り、人権教育の充実を目指します。

- 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
- 部落差別解消に向けた定期的な教職員研修の実施
- 若手教職員の育成の中での部落差別解消のための人権教育の充実

2. あらゆる場における人権教育の推進

「玖珠町人権施策基本計画」を基調に、わが国固有の人権問題である部落差別問題をはじめ、女性や子ども・高齢者・障がい者・外国人・医療など様々な人権課題について正しく理解し、その解決に向けた意欲と実践力を持った住民を育成することが重要です。あらゆる場において、学習機会の提供を人権確立・部落差別解消推進課と連携して進めます。

- 人権公開講座の開催
- 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
- 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価一覧

令和2年度 重点施策		担当班	頁	自己評価	総合評価
I 学校教育					
1	確かな学力の定着・向上	指導班	15	A	A
2	豊かな人間性の育成	指導班	16	B	B
3	心身の健康と体力の向上	指導班	17	B	B
4	特別支援教育の充実	指導班	18	A	B
5	開かれた学校づくりの推進	指導班	19	B	B
6	安心・安全な学校づくり	指導班 教育政策班	21	A	A
7	組織的な学校運営体制づくりと教職員の 資質・能力の向上	指導班	23	A	A
8	「この地域」だからこそ学べる魅力ある 学校づくり	指導班	24	B	B
9	学校間・校種間の連携	指導班	25	B	B
10	教育のICT化に向けた環境整備	教育政策班	26	A	A
11	学校における働き方改革の推進	指導班	27	B	B
12	地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の 運営	教育政策班	28	B	B
13	就学前教育の質の向上と教育環境の整備	指導班	29	A	A
14	安全・安心な学校給食の提供と地産地 消・食育の推進	給食センター	31	B	B
II 社会教育に関すること					
1	地域の教育力の向上	社会教育班 公民館班	33	B	B
2	子どもと大人 家庭と地域での教育	社会教育班 わらべの館	35	B	B
3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーショ ンの推進	社会教育班	37	B	B
4	久留島武彦精神を継承する環境の充実	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館	38	B	A
5	文化の創造と振興	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館	40	B	B
6	地域の歴史を学ぶ 文化財の活用	社会教育班	42	B	B
7	生涯学習を保障する図書館サービス網の 充実	公民館班 わらべの館	44	B	B
III 人権教育					
1	学校教育における人権教育の充実	指導班	47	A	A
2	あらゆる場における人権教育の推進	社会教育班	48	A	A

事務管理の執行状況点検・評価の基準

達成率・達成度について

各方針の具体的取組に目標指標を設け、それに対する実績値から達成率を算定し、達成度としています。

達成度	達成度の目安
◎	達成率100%以上
○	達成率100%未満80%以上
△	達成率80%未満60%以上
×	達成率60%未満
—	コロナ禍により測定未実施

自己評価・総合評価について

教育委員会評価を「自己評価」、事務評価部会評価を「総合評価」とし、重点方針の主要事業を総合的に評価したものとしています。

評価ランク	目標に対する達成度合い
A	「十分成果が上がっている。」
B	「成果がみえる」
C	「成果がみられるが、更なる取り組みを要する」
D	「改善を必要とする」
E	「抜本的見直しが必要」

事務の点検・評価調書説明

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	1	学校教育	担当所属	教育政策班 指導班
中項目（方針）	1	確かな学力の定着向上		

説明：玖珠町教育行政の重点方針の大項目（学校教育、社会教育、人権教育）、大項目下の中項目（令和2年度方針23項目：学校教育14、社会教育7、人権教育2）を記入しています。

1 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	①教育環境の整備 ②基礎学力の定着と向上
前年度点検・評価 で整理した課題	①.....を改善する ②.....を重点的に行う。

説明：主要事業は、玖珠町教育行政の重点方針の小項目を記入しています。それに対して、整理した課題等を記入しています。主要事業①＝課題①（※今後丸数字は、すべて主要事業にリンクしています）

2 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：主要事業の中で、実施した取組を箇条書きにしています。

3 目標指標の設定 【実行】

目標指標	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
①.....	台	1050
②.....	%	100

説明：4で目標数値の達成度から評価を行うが、目標数値の設定根拠について記入しています。

4 目標指標の達成度【評価】

目標指標	単位	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a	達成度	自己評価	総合評価	
①	台	1050	1050	100	◎	B	C	
②	小	%	100	100.5	100.5			◎
	中	%	100	95.3	95.3			○

説明：目標数値に対して、実績値・達成率を記入しています。それにより、達成度を表しています。

【達成度：達成率に対して、「◎」100以上、「○」99～80、「△」79～60、「×」60未満】
 (※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業の達成度は、を測定していない
 その場合「-」を記入しています)

【評価：A 十分成果が上がっている、B 成果が見える、C 成果がみられるが、更なる取り組みを要する、D 改善を必要とする、E 抜本の見直しが必要】

評価は、達成度の状況を考え、教育委員会の自己評価、事務評価部会委員の総合評価を記入しています。

5 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業：②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：改善項目は、事業ごとに記入しています。

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	1	確かな学力の定着・向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 教育環境の整備 ② 基礎学力の定着と向上
前年度整理した課題	① ー ② 小学校の基礎基本の更なる定着と中学校での低位層の底上げ

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 教育環境の整備
◆ AIドリルの導入に向けての実証
主要事業： ② 基礎学力の定着と向上
◆ 確認テストの実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① AIドリルの実証	校	8	町内学校数（分校除く）
② 確認テストで目標値を超えた学校数	校	6	8校中6校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① AIドリルの実証	校	8	8	100	◎	A	A
② 確認テストで目標値を超えた学校数	校	6	1回目6校 2回目5校	92	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 教育環境の整備
◆ 全ての学校において、AIドリルの活用を進めること
主要事業： ② 基礎学力の定着と向上
◆ 引き続き確認テストを実施し、基礎学力の確実な定着を図る

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	2	豊かな人間性の育成		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 学校と家庭の連携 ② 特色ある学校づくりの推進
前年度整理した課題	① SC、SSWが各校週1日しか学校に配置できないため、突発的な出来事へのカウンセリング等がタイムリーに実施できないこと ② —

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 学校と家庭の連携
◆ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの全校配置
主要事業： ② 特色ある学校づくりの推進
◆ 特色ある学校づくり実践校の指定と公開授業の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① SC、SSWの全校配置	校	8	町内学校数（分校除く）
② 実践校指定と公開授業の実施	校	2	テーマ「徳」「人権」に対して各1校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① SC、SSWの全校配置	校	8	8	100	◎	B	B
② 実践校指定と公開授業の実施	校	2	0	0	—		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 学校と家庭の連携
◆ SCの全校配置はできたが、SSWは週2回、希望校への派遣となった。全校配置を目指す働きかけ
主要事業： ② 特色ある学校づくりの推進
◆ コロナ禍のため、校内の公開授業となったので、公開授業ができるよう取り組む

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	3	心身の健康と体力の向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 小中学生の基礎体力の向上 ② 望ましい生活習慣に繋がる食育の実施
前年度整理した課題	① 学校における組織的な取り組みの充実により、運動の習慣化・日常化を図る ② 栄養教諭の計画的な派遣

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 小中学生の基礎体力の向上
◆ 学童記録会への参加率の増加
主要事業： ② 望ましい生活習慣に繋がる食育の実施
◆ 栄養教諭の派遣

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 学童記録会への参加率の増加	回	174	全児童数の25%
② 栄養教諭の派遣	回	3回/校	1校あたり授業関連2回、給食1回

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 学童記録会への参加率の増加	回	174	121	69.5	△	B	B
② 栄養教諭の派遣	回	24	43	187	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 小中学生の基礎体力の向上
◆ 新型コロナウイルス感染症のため、実施時期が遅れ、玖珠郡陸上競技連盟が実施する記録会との共同開催とした関係で、高跳び、ソフトボール投げを実施できなかった。実施競技について、検討を要する
主要事業： ② 望ましい生活習慣に繋がる食育の実施
◆ 新型コロナウイルス感染症があったが、工夫して派遣が実施できた

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	4	特別支援教育の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 特別支援教育支援員の配置等の校内支援体制の充実 ② 個々に応じた指導体制の充実と学習環境の向上
前年度整理した課題	① 特別支援教育支援員の研修を実施する ① 人材確保と雇用にかかる費用確保を行う ② —

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 特別支援教育支援員の配置等の校内支援体制の充実
◆ 特別支援教育支援員の配置
主要事業： ② 個々に応じた指導体制の充実と学習環境の向上
◆ 個別の指導計画の作成

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 特別支援教育支援員の配置	人	21	前年度配置数
② 個別の指導計画の作成	人	37	特別支援学級、通級指導教室在籍者数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 特別支援教育支援員の配置	人	21	21	100	◎	A	B
② 個別の指導計画の作成	人	37	37	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 特別支援教育支援員の配置等の校内支援体制の充実
◆ 予算の範囲内での人員確保はできたが、学校が要望する人員数を配置できていない
主要事業： ② 個々に応じた指導体制の充実と学習環境の向上
◆ 特別支援学級等に入級している児童生徒については、確実に個別の指導計画の作成は行われており、それを実行する体制の充実に努める必要がある

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	5	開かれた学校づくりの推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 効果的な情報発信の検討 ② 家庭、地域のニーズの把握 ③ 学校、家庭、地域が課題等を共有し、共通の目標に向け推進 ④ 学校、家庭、地域の連携・協働の充実 ⑤ 地域産業界と連携したキャリア教育、職業教育等の充実
前年度整理した課題	① ホームページの活用を通じた積極的な情報発信 共 コミュニティ・スクールの活動が実効性のあるものになるよう、助言や活動支援を行います 共 学校のICT化が進められる中で、家庭や地域へ適時、適切な情報の提供ができるよう、教職員へ活用方法と効果を周知し、使用方法をわかりやすく教えていくことが必要です

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 効果的な情報発信の検討
◆ 学校ホームページの充実
主要事業： ② 家庭、地域のニーズの把握
◆ 学校ごとに学校評価アンケートを実施する
主要事業： ③ 学校、家庭、地域が課題等を共有し、共通の目標に向け推進
◆ 学校運営協議会において、課題の共有、共通目標の設定を行う
主要事業： ④ 学校、家庭、地域の連携・協働の充実
◆ 学力向上会議において、成果と課題の報告を行う
主要事業： ⑤ 地域産業界と連携したキャリア教育、職業教育等の充実
◆ 地域人材によるゲストティーチャー授業を行う

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① ホームページの更新	校	8	学校ごとに毎月1回はHP掲載内容の更新に取り組む
② 学校評価アンケートの実施	校	8	全小中学校でアンケートを実施し、ニーズの把握に努める
③ 課題の共有、共通目標の設定	校	5	学校運営協議会設置校全校で実施する
④ 成果と課題の報告	校	8	全小中学校で実施する
⑤ ゲストティーチャーによる授業実施	校	1	中学校で実施

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(% b/a)	達成度	自己評価	総合評価
① ホームページの更新	校	8	4	50	×	B	B
② 学校評価アンケートの実施	校	8	8	100	◎		
③ 課題の共有、共通目標の設定	校	5	5	100	◎		
④ 成果と課題の報告	校	8	8	100	◎		
⑤ ゲストティーチャーによる授業実施	校	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 効果的な情報発信の検討</p> <p>◆ 学校規模により、ホームページでなく学校たよりで情報発信している学校もある 玖珠町でのデジタル化の推進を踏まえて、改めて情報発信の方法について検討を行う</p>
<p>主要事業： ② 家庭、地域のニーズの把握</p> <p>◆ 学校ごとに学校評価アンケートを実施でき、アンケート結果を分析することで、家庭等のニーズを把握することができた</p>
<p>主要事業： ③ 学校、家庭、地域が課題等を共有し、共通の目標に向け推進</p> <p>◆ 学校運営協議会を設置した学校において、協議会で課題の共有、共通目標の設定を行うことができた</p>
<p>主要事業： ④ 学校、家庭、地域の連携・協働の充実</p> <p>◆ 学力向上会議において、成果と課題の報告を行うことで、課題を整理し、次年度へつなげることができた</p>
<p>主要事業： ⑤ 地域産業界と連携したキャリア教育、職業教育等の充実</p> <p>◆ くす星翔中学校において、「職業人に学ぶ」「くすまちをもちあげよう」を主題に実践を行うことができた</p> <p>◆ 小学校でも実施可能かどうか、検討する</p>

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班 指導班
中項目（方針）	6	安心・安全な学校づくり		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 危機管理マニュアルの作成と実行（指） ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（政） ③ 施設・設備の安全点検の徹底（政）
前年度整理した課題	① 各学校で様々な想定を行い、危機管理マニュアルの更新を行っていく ② 通学路の安全確保のための引き続きの点検を実施 ③ 老朽化等に伴う破損等、見落とさないよう点検を行う

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの作成と実行（指）
◆ 避難確保計画の作成
主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（政）
◆ 通学路安全点検を実施し、改善箇所と改善対策とその改善対策と実施機関を明確にする
主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底（政）
◆ 学校施設・環境の安全点検の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 危機管理マニュアルの作成(指)	校	8	全小中学校
② 通学路安全点検の実施（政）	回	1	年1回
③ 安全点検の実施（政）	回	1	年1回
共 すぐメール登録件数（政）	件	1,016	前年度登録件数1,016件（出校家庭827戸）以上の登録

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 危機管理マニュアルの作成(指)	校	8	8	100	◎	A	A
② 通学路安全点検の実施（政）	回	1	1	100	◎		
③ 安全点検の実施（政）	回	1	1	100	◎		
共 すぐメール登録件数(政)	件	1,016	1,154	113.6	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの作成と実行（指）
◆ 毎年度、各学校でマニュアルの見直しを行い、実効性のあるものになっている ◆ 学校が要配慮者利用施設に定められていることから、危機管理マニュアルと別に避難確保計画を作成することが義務づけられている。次年度（令和3年度）中に作成するよう基地・防災対策課を通じて指導されている
主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（政）
◆ 緊急性の高いものは、改善対策を実施する関係機関を明確にし、改善の実効性を高めることができた
主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底（政）
◆ 安全点検で指摘された事項を改善する予算を予算化し、改善に努めることができた ◆ 施設の老朽化に伴い、点検結果において指摘事項が増えてきている

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	7	組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校内研修や管理職による観察・指導の実施 ② 各校教職員間の効果的な研修の実施
前年度整理した課題	① 事後研修の内容の充実 ② —

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 校内研修や管理職による観察・指導の実施
◆ 学力向上会議への指導主事の参加
◆ 校内研修への指導主事の参加
主要事業： ② 各校教職員間の効果的な研修の実施
◆ 他校訪問の実施
◆ 町指定研究指定校の研究発表会（公開、校内）への参加

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 学力向上会議への指導主事の参加	回	16	8校×年2回
② 他校訪問の実施	回	24	8校×年3回

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 学力向上会議への指導主事の参加	回	16	16	100	◎	A	A
② 他校訪問の実施	回	24	24	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 校内研修や管理職による観察・指導の実施
◆ 学力向上会議等に指導主事が学校へ赴くことで、より実践的な指導・助言を行うことができた
主要事業： ② 各校教職員間の効果的な研修の実施
◆ 新型コロナウイルス感染症の関係で減ったが、町指定の公開研究授業への参加が効果的な研修の場の一つとなった

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	8	「この地域」だからこそ学べる魅力ある学校づくり		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 教職員への郷土を学ぶ研修の実施 ② 副読本を用いた各小学校における久留島学習の定着
前年度整理した課題	① 参加者が限られてしまう ② —

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 玖珠町の文化・歴史を学ぶフィールドワークの実施
主要事業： ② 副読本を用いた各小学校における久留島学習の定着
◆ 久留島武彦副読本の積極的な活用

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① フィールドワークの実施	回	1	年1回実施
② 久留島武彦副読本の積極的な活用	校	9	全小・中学校で活用

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① フィールドワークの実施	回	1	0	0	—	B	B
② 久留島武彦副読本の積極的な活用	校	9	9	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 研修を目的を明確にするとともに、参加しやすい時期と時間を設定する
主要事業： ② 副読本を用いた各小学校における久留島学習の定着
◆ 給食で「久留島すきやき」が提供されたこともあり、活用の機会が設定できた

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	9	学校間・校種間の連携		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 小小連携学習の実施 ② 校種間等の連携事業の実施
前年度整理した課題	① 7小学校の取組の違いがある項目について、指導項目を統一していく必要がある ② こども園を含んだ園と小学校の連携を充実させていく必要がある

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 小小連携学習の実施
◆ 小学校6年生合同学習の実施
主要事業： ② 校種間等の連携事業の実施
◆ 就学前教育研修会を実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 小学校6年生合同学習の実施	回	3	学期ごとに1回
② 就学前教育研修会を実施	回	3	学期ごとに1回

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 小学校6年生合同学習の実施	回	3	2	67	△	B	B
② 就学前教育研修会の実施	回	3	3	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 小小連携学習の実施
◆ 7小学校の取組の違いがある項目について、指導項目を統一していく必要性について再度確認できた
主要事業： ② 校種間等の連携事業の実施
◆ 研修内容について、目的と事後のフォローも含めて検討する必要がある

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班
中項目（方針）	10	教育のICT化に向けた環境整備		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校内通信ネットワーク環境の整備 ② 児童生徒1人1台への端末の整備
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業：① 校内通信ネットワーク環境の整備
◆ 文科省の補助事業により、GIGAスクール構想に対応した環境整備を行う
主要事業：② 児童生徒1人1台への端末の整備
◆ 文科省の補助事業等により、1人1台端末の整備を行い、活用を始める

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 環境整備をした学校数	校	5	町内9校中、環境未整備校7校（日出生小・小野原分校は整備しない）、八幡小、星翔中は既整備
② 端末整備台数	台	1,050	令和2年度児童生徒数
② 授業等での活用学校数	校	9	令和2年度学校数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 環境整備をした学校数	校	5	5	100	◎	A	A
② 端末整備台数	台	1,050	1,150	110	◎		
② 授業等での活用学校数	校	9	9	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業：① 校内通信ネットワーク環境の整備
◆ 整備を行い活用が始まっている。今後は校内の通信環境の状況を把握し、改善していく
主要事業：② 児童生徒1人1台への端末の整備
◆ 教員用も含め、整備できた。今後は、持ち帰り環境の改善を目指す
◆ 端末の整備が終了し、具体的な活用となる。有識者会議等で有効な活用方法を検討していく

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	11	学校における働き方改革の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 教師の働き方の実態を改革するという時間管理の視点での改善 ② 子どもを取り巻く変化への対応のための「チームとしての学校」の機能強化の視点での改革
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 教師の働き方の実態を改革するという時間管理の視点での改善
◆ 各校の勤務実態改善計画に数値目標を設定し、具体性のある改善に取り組ませる(1改善運動)
主要事業： ② 子どもを取り巻く変化への対応のための「チームとしての学校」の機能強化の視点での改革
◆ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーが情報共有できるICT環境の整備を行う

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 1改善運動の実施	校	8	全小中学校で実施
② 情報共有フォルダの作成	校	8	各学校に情報共有フォルダを作成し、実用化する

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 1改善運動の実施	校	8	8	100	◎	B	B
② 情報共有フォルダの作成	校	8	1	13	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 教師の働き方の実態を改革するという時間管理の視点での改善
◆ 各学校において「勤務実態改善に関する計画の作成」を行い、年間を通じて実施した中で、実勤務時間の短縮へ向けての意識は高まってきているが、現場の課題は山積しており、時間管理だけでは難しい現状がある
主要事業： ② 子どもを取り巻く変化への対応のための「チームとしての学校」の機能強化の視点での改革
◆ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの情報共有は随時行っているが、ICT環境は整備中であり、継続して、環境整備に努める。共有フォルダの作成は、学校ごとに取扱いを定めたいので作成する必要がある

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班
中項目（方針）	12	地域の高校に対する支援と玖珠志学塾の運営		

1. 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	① 広報及び人材育成や部活動への支援 ② 公営塾の効果的な運営
前年度整理した課題	① 美山高校の情報発信を広く行う ② 公営塾の進学状況の情報発信を広く行う

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 広報及び人材育成や部活動への支援
◆ 玖珠美山高校の取組を広報するとともに、部活動外部招へい事業、生徒海外派遣事業の補助を行う
主要事業： ② 公営塾の効果的な運営
◆ 玖珠美山高校生を対象とした「玖珠志学塾」を株式会社Birth47に委託し運営を行う

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 外部指導者の招聘実績	回	30	令和元年度実施した29回を超える
① 生徒海外派遣人数	人	3	令和元年度派遣した3人の派遣
② 塾の進学実績	人	19	令和元年度国公立大学の進学実績18人を超える
共 玖珠美山高校定員	人	120	定員120人を目指す

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 外部指導者の招聘実績	回	30	0	0	—	B	B
① 生徒海外派遣人数	人	3	0	0	—		
② 塾の進学実績	人	19	12	63	△		
共 玖珠美山高校定員	人	120	112	93	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 広報及び人材育成や部活動への支援
◆ コロナ禍で事業実施できず。魅力のある学校づくりのための補助事業の展開を行う必要がある
主要事業： ② 公営塾の効果的な運営
◆ 引き続き公営塾の運営委託を行いながら、進学実績を上げ学校の定員充足率向上を目指す

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	13	就学前教育の質の向上と教育環境の整備		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 認定こども園と町立幼稚園の連携 ② 就学前児童の就学への支援 ③ 関係機関との連携と家庭教育支援
前年度整理した課題	① 各園の課題を探り、テーマを決め研修会内容検討 ② 5歳児交流会の内容検討、各園との共通理解 ③ こども園、幼稚園と小学校との連携

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 認定こども園と町立幼稚園の連携
◆ 就学前教育研修会では幼児理解等をテーマに開催。各園の5歳児や主幹が参加した
◆ 特別支援教育講演会を開催 コロナ禍のため、各園5名程度の参加とした
◆ 5歳児交流会（コロナ感染拡大防止のため中止）
主要事業： ② 就学前児童の就学への支援
◆ こども園の5歳児が学校給食体験を実施 場所：森幼稚園
◆ 就学時健康診断と教育相談会の実施
主要事業： ③ 関係機関との連携と家庭教育支援
◆ こども幼保小連絡会を開催 町内幼児教育施設と小学校から教諭等が参加 計21名

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 就学前教育研修会の回数	回	3	学期ごとに1回開催する
② 特別支援教育研修会実施	回	1	実施回数
③ 5歳児交流会実施	回	1	実施回数
④ 5歳児給食体験実施園	園	5	対象園5園（杉ノ子は小学校で実施するため除く）
⑤ 就学時健康診断と教育相談会	%	100	町内の就学予定児の全員受診
⑥ こども幼保小連絡会実施	回	1	連絡会開催回数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 就学前教育研修会の回数	回	3	3	100	◎	A	A
② 特別支援教育研修会実施	回	1	1	100	◎		
③ 5歳児交流会実施	回	1	0	0	—		
④ 5歳児給食体験実施園	園	5	5	100	◎		
⑤ 就学時健康診断と教育相談会	%	100	100	100	◎		
⑥ こども幼保小連絡会実施	回	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 認定こども園と町立幼稚園の連携</p> <p>◆ 幼児理解や園児の「みとり方」については今後も研修を深めていくことが重要である</p> <p>◆ 今年度はコロナ感染拡大防止のため5歳児交流会が実施出来なかった。状況を見ながら実施していく</p>
<p>主要事業： ② 就学前児童の就学への支援</p> <p>◆ 給食を知り、就学に期待が持てるようにするため今後も取り組んで行くことが必要だが、給食体験を実施できる場の見直しが必要だと思われる</p>
<p>主要事業： ③ 関係機関との連携と家庭教育支援</p> <p>◆ 連絡会は、園と小学校がつながり子どもの育ちをつなげていくため、今後は回数等の見直しが必要である</p>

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	給食センター
中項目（方針）	14	安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 郷土愛を育む地産地消の推進 ② 新鮮で安全・安心である適正な食材確保 ③ 計画的な調理施設・設備・備品等の整備
前年度整理した課題	① 地産地消事業を継続して行う ② 新鮮で安全・安心な食材を活用する ③ スチームオープンや樹脂食器を購入。

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ 寄付に伴う「久留島流すき焼き」事業を行い、久留島武彦に関する先哲授業を日出生小学校で行なった ◆ コロナ禍であったので、食育授業の立ち上げが遅れ、塚脇小学校の1校のみの実施であった
主要事業： ② 新鮮で安全・安心である適正な食材確保
◆ 玖珠町で採れる食材を積極的に使用している ◆ 安全・安心な給食の提供
主要事業： ③ 計画的な調理施設・設備・備品等の整備
◆ 平成29年度からの「施設改修等事業計画」に基づき、特防事業により食器消毒保管機を購入した ◆ 度々の故障により、食器洗浄機のシステム基盤を改修した

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 食育授業の開催学校数	校	8	全小学校数
② 異物混入や食器数の誤り件数	件	27以下	異物混入や食器数の誤り件数が前年度の件数以下
③ 施設管理上や連絡ミス等を起因にして提供できなかった件数	件	0	施設管理上や連絡ミス等を起因にして提供できなかった件数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 食育授業の開催学校数	校	8	1	13	—	B	B
② 異物混入や食器数の誤り件数	件	27以下	17	100	◎		
③ 施設管理上や連絡ミス等を起因にして提供できなかった件数	件	0	1	0	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ 本年はコロナ禍であったため、食育授業の実施校が少なかった。継続し取り組んでいく
◆ 町内の食材、業者を積極的に活用する
主要事業： ② 新鮮で安全・安心である適正な食材確保
◆ 調理業務の中で複数の職員による再確認や、毎日の打合せ会議で衛生管理意識の向上に努める。
◆ 賄材料費確保のため、滞納対策を強化する。
主要事業： ③ 計画的な調理施設・設備・備品等の整備
◆ 炊飯委託業者から2年後には辞退する申出があり、炊飯業務の直営を計画しなければならない
◆ 施設設備や配送車の老朽による突発的な修繕が起るため、財源確保が必要である

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班
中項目（方針）	1	地域の教育力の向上		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 「協育」ネットワーク連携促進事業（社） ② 世代に応じた各種学習活動の支援（公） ③ 地域の学習活動・拠点の支援（公）
前年度整理した課題	① 地域で学校を支援する体制を維持していく ② 男性が受講しやすい講座が少ない ③ 各自治会館・コミュニティとの連携 ③ 北山田地区の受講者が少ない

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 「協育」ネットワーク連携促進事業（社）
◆ 学校支援活動…学校から依頼を受けたコーディネーターが支援ボランティアを依頼し学校教育活動を支援する
◆ 小学生チャレンジ教室…放課後や休日に余裕教室や自治会館を活用し安全安心な居場所づくりを行う
主要事業： ② 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
◆ 一般、子ども向けの講座を町外の講師に依頼し、各種講座を開講。また、広報等でPRを行った
◆ コロナ禍により、休講の講座も出たが、一般、子どもが受講しやすい講座を開講
◆ 健康づくり、料理、防災、環境、職業体験等、世代に応じた講座を開講
主要事業： ③ 地域の学習活動・拠点の支援（公）
◆ 各地区、自治会館と連携し、各自治会館で高齢者向けの講座を開講

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 地域支援者（学校支援）（社）	延べ人数	672	平成30年度 864人：令和元年度 672人（前年並み）
① 地域支援者（小学生チャレンジ）（社）	延べ人数	493	平成30年度 487人：令和元年度 493人（前年並み）
② 一般講座（公）	種類	5	令和2年度 5種類以上の講座を開講
② 子ども講座（公）	回	4	夏休み体験講座（1回） 職業体験講座（3回）
③ 各地区自治会館との連携講座（公）	回	36	4地区×9回（年間）の暮らしに役立つ講座を開講

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(% b/a)	達成度	自己評価	総合評価
① 地域支援者（学校支援）（社）	延べ 人数	672	334	45	—	B	B
① 地域支援者（小学生チャレンジ）（社）	延べ 人数	493	468	95	○		
② 一般講座（公）	種類	5	5	100	◎		
② 子ども講座（公）	回	4	4	100	◎		
③ 各地区自治会館との連携講座（公）	回	36	32	88	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 「協育」ネットワーク連携促進事業（社）</p> <p>◆ 学校での取り組みを情報発信することで支援者の参加を増やす。（町報掲載）地域で支える体制づくり</p>
<p>主要事業： ② 世代に応じた各種学習活動の支援（公）</p> <p>◆ 町内で、知識や特技がある方を講師に依頼し、受講者が楽しく、実のある講座を開講</p> <p>◆ 他市町と連携した講座を実施し、広域的なつながりづくりを行う</p> <p>◆ 一般、子ども向けの講座に加え、男性が参加したくなる講座を開講</p> <p>◆ 一般向けの講座で、新規の講座を開講する</p>
<p>主要事業： ③ 地域の学習活動・拠点の支援（公）</p> <p>◆ 各地区自治会館やコミュニティと連携し、地域の人が参加しやすい講座づくりを行う</p> <p>◆ 町内で、知識や特技がある方に講師依頼し、受講者が楽しく、実のある講座を開講</p>

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 わらべの館
中項目（方針）	2	子どもと大人 家庭と地域での教育		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 青少年健全育成協議会への支援（社） ② わらべサークル協議会への支援（わ） ③ 児童文化の担い手の育成（わ） ④ 家庭教育に関する講演会の実施（社）
前年度整理した課題	① 推進大会の参加者増の取り組みとして、土曜日の午後から平日の夜への大会開催の検討 ② 後継者の確保の支援を行う ③ 若い人材の育成を行う ④ 講演会の実施

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援（社）
◆ 青少年育成推進大会中止
◆ 7地区の健全育成協議会への支援（あいさつ運動、草刈、子どもの遊び等）
主要事業： ② わらべサークル協議会への支援（わ）
◆ わらべサークル協議会の活動を支援するため事務を行う
◆ わらべサークル協議会と共催で行事を企画運営する
◆ 後継者確保のための研修を行う
主要事業： ③ 児童文化の担い手の育成（わ）
◆ 児童文化の担い手を育成するため、プロ劇団を招聘しワークショップを開催する
主要事業： ④ 家庭教育に関する講演会の実施（社）
◆ 新型コロナウイルス感染症の状況から未実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町青少年健全育成推進大会（社）	人	231	大会当日の参加者：210名（令和元年度）1割増
① 7地区合同会議（社）	回	2	7地区会長及び事務局長による合同会議
② わらべサークル協議会の事務（わ）	式	1	サークル事務を年間通して行う
② 共催行事の企画運営（わ）	回	2	主要行事：2（こどもフェス/新春こどもまつり）
② 後継者確保のための研修（わ）	回	3	人材育成事業＋ミニ見に劇場：3
③ プロ劇団の招聘実績（わ）	回	3	人材育成事業＋ミニ見に劇場：3
④ 家庭教育講演会（社）	回	1	年間1回開催

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(% b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町青少年健全育成推進大会（社）	人	231	0	0	—	B	B
① 7地区合同会議（社）	回	2	2	100	◎		
② わらべサークル協議会の事務（わ）	式	1	1	100	◎		
② 共催行事の企画運営（わ）	回	2	1	50	—		
② 後継者確保のための研修（わ）	回	3	2	67	—		
③ プロ劇団の招聘実績（わ）	回	3	2	67	—		
④ 家庭教育講演会（社）	回	1	0	0	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 7地区健全育成協議会の役員会にて意見交換会、取り組み状況の確認を実施 ◆ 参加者を増やす取り組みとして、土曜日の午後から平日の夜へ変更する
<p>主要事業： ② わらべサークル協議会への支援（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 活動継続のためには後継者の確保が急務である ◆ コロナ禍での活動支援について、内容の見直し等が必要となる
<p>主要事業： ③ 児童文化の担い手の育成（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 継続的な活動のためには若い人材の育成が必要である ◆ 興味関心を引くような魅力ある事業の立案
<p>主要事業： ④ 家庭教育に関する講演会の実施（社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 講演会の実施

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① スポーツ少年団活動の充実 ② 総合型地域スポーツクラブ（童里夢スポーツクラブ）の育成 ③ すこやかスポーツ祭の実施
前年度整理した課題	① スポーツ少年団活動の情報発信 ② 童里夢スポーツクラブの指導者育成と主催事業の開催 ③ 誰でも参加できる種目の選択

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① スポーツ少年団活動の充実
◆ 加入団での交流活動（美化活動、交流駅伝大会）
◆ 地域内指導者研修会の実施
主要事業： ② 総合型地域スポーツクラブ（童里夢スポーツクラブ）の育成
◆ 9教室の運営
主要事業： ③ すこやかスポーツ祭の実施
◆ 県内の新型コロナウイルス感染症の状況から中止

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 交流活動の開催	回	2	美化活動、交流駅伝大会の実施
② 主催事業の開催	回	2	バトミントン大会・水泳大会の実施
③ 募集人員の確保	人	20	募集人員20名

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 交流活動の開催	回	2	2	100	◎	B	B
② 主催事業の開催	回	2	0	0	—		
③ 募集人員の確保	人	20	0	0	—		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① スポーツ少年団活動の充実
◆ 玖珠町内の児童数の20%以上の加入を推進する
主要事業： ② 総合型地域スポーツクラブ（童里夢スポーツクラブ）の育成
◆ 童里夢クラブ主催事業の開催
主要事業： ③ すこやかスポーツ祭の実施
◆ すこやか祭を含む、住民参加型のスポーツイベントの開催を行う

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館
中項目（方針）	4	久留島武彦精神を継承する環境の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 日本童話祭の開催（社） ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社） ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ） ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久） ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久） ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）
前年度整理した課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 交通渋滞の解消 ② 小学生の来場者の確保 ③ 幅広い広報と指導者の養成を行う ④ 学校と連携して取り組む ⑤ ー ⑥ 資料集の制作に取り組む

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

<p>主要事業： ① 日本童話祭の開催（社）</p> <p>◆ 中止。実行委員会でコロナ渦においても童話祭において久留島武彦の顕彰を行うことを確認する</p>
<p>主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社）</p> <p>◆ 中止。応募者数が一般50名及び小学生14名の応募あり</p>
<p>主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ）</p> <p>◆ 第38回大会の募集で昨年度投句数を上回る実績を目指す</p> <p>◆ 指導者養成を目指した俳句講習会の開催する</p>
<p>主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久）</p> <p>◆ 高校生以下を対象として、創作童話を募集し優秀作に賞を贈る</p> <p>◆ 優秀作品集を100部、印刷製本し関係機関に配布する</p>
<p>主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久）</p> <p>◆ 町内の新小学4年生に副読本を提供し、久留島武彦を学ぶ学習に役立ててもらおう</p> <p>◆ 日出生小学校で久留島流すき焼き体験学習を実施する</p>
<p>主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）</p> <p>◆ 関連資料の収集や当時の新聞記事等の解説を行う</p> <p>◆ 資料の収集や調査・研究をもとに企画展示や館報等で広く情報発信する</p>

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 5月5日童話祭式典の参加者（社）	人	534	534人（令和元年度）式典に参加した人員（仮装パレード参加者）
② 語りべ大会当日の来場者（社）	人	400	400名（令和元年度）
③ 昨年度より投句数を増やす（わ）	句	13,000	令和元年度実施数（12,344句）以上
③ 俳句講習会の開催数（わ）	回	2	令和元年度実施数（1回）以上
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	80	令和元年度の応募作品数を超える。
⑤ 副読本配布部数（久）	部	145	令和元年度の小学校4年生と町内転入教職員数。
⑥ 資料収集の実績（久）	点	100	令和元年度の資料収集実績を超える。

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 5月5日童話祭式典の参加者（社）	人	534	0	0	—	B	A
② 語りべ大会当日の来場者（社）	人	400	0	0	—		
③ 昨年度より投句数を増やす（わ）	句	13,000	13,157	101	◎		
③ 俳句講習会の開催数（わ）	回	2	5	250	◎		
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	80	117	146	◎		
⑤ 副読本配布部数（久）	部	145	145	100	◎		
⑥ 資料収集の実績（久）	点	100	98	98	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 日本童話祭の開催（社）
◆ 原点に立ち返り、童話碑の意義と久留島武彦の顕彰への理解を町民及び来町者に知ってもらおう取組
主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社）
◆ 大会時の来場者数を確保する
◆ 玖珠町ホームページから映像もしくは音声発信を行う
主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ）
◆ 投句人数・投句数・団体投句校数の増加を目指す
◆ 投句の質の向上のため教員等関係者を対象とした俳句講習会の開催を行う
主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久）
◆ 学校と連携することにより町内の応募作品数を増やしつつ、コンクールの知名度を高める
主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久）
◆ 副読本の内容の充実を図り、活用の幅を広げる
◆ 学校での久留島学習に積極的に参加、協力する
主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）
◆ 資料収集及び調査、研究を継続的に行い資料集、館報等を発行し情報発信に努める
◆ 魅力ある企画展の開催を行う

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館
中項目（方針）	5	文化の創造と振興		

1. 主要事業【計画】

主要事業	<ul style="list-style-type: none"> ① 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援（社） ② 巡回音楽会の開催（社） ③ 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公） ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久） ⑤ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）
前年度整理した課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 出展作品数及び来場者数の増加 ② 継続して実施 ③ 観客数の増加（公民館フェスティバル） ③ 出演者の協力体制（公民館フェスティバル） ④ 来場者数の増加（コンサート等） ④ 集客方法の工夫（コンサート等） ④ アンケート結果集約（コンサート等） ⑤ —

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援（社）
◆ 新型コロナウイルス感染症の状況から中止
主要事業： ② 巡回音楽会の開催（社）
◆ 「オーボエとヴァイオリン デュオコンサート」を10月の5日間、町内全小中高を対象に9か所で実施
主要事業： ③ 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公）
◆ 新型コロナウイルス感染防止対策により中止
主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久）
◆ 公共ホール音楽活性化支援事業（ヴァイオリン・ピアノ 町内4か所 アクティビティ・コンサート実施）（公）
◆ 北海道歌旅座 チャリティコンサート実施（公）
◆ 童話の里くすファンタジーミュージカルスタジオによる、子ども創作童話コンクール作品ミュージカル公演（公）
◆ 町内唯一の博物館として、町民に良質の芸術作品に触れてもらうため博多人形中村信喬展を開催（久）
主要事業： ⑤ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）
◆ くるしま童話展、巖谷小波おとぎの世界展、中村信喬展の3回、企画展を開催する

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町美展出展数（社）	点	136	136点（令和元年度）（絵画35.書41.写真48.工芸12）
② 全小中高で巡回音楽会（社）	校	8	小学校（6）中学校（1）高校（1）
③ 公民館フェスティバル（公）	人	500	例年通り
④ 入場者数（公共ホール支援事業）（公）	人	250	716席×1/2（入場制限）×0.7
④ 昭和の歌コンサート（公）	人	250	716席×1/2（入場制限）×0.7
④ 佐世保音楽隊コンサート（公）	人	250	716席×1/2（入場制限）×0.7
④ ミュージカル「みらいとふしぎな本」（公）	人	250	716席×1/2（入場制限）×0.7
④ 来館者実績（久）	人	2,473	令和元年度の韓国陶芸展来館者実績を目指す。
⑤ 来館者実績（久）	人	6,331	令和元年度の来館者実績を目指す。

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町美展出展数（社）	点	136	0	0	—	B	B
② 全小中高で巡回音楽会（社）	校	8	8	100	◎		
③ 公民館フェスティバル（公）	人	500	0	0	—		
④ 入場者数（公共ホール支援事業）（公）	人	250	147	59	—		
④ 昭和の歌コンサート（公）	人	250	106	42	—		
④ 佐世保音楽隊コンサート（公）	人	250	0	0	—		
④ ミュージカル「みらいとふしぎな本」（公）	人	250	439	175.6	◎		
④ 来館者実績（久）	人	2,473	571	23	—		
⑤ 来館者実績（久）	人	6,331	2,998	47	—		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 町美術展覧会・自主文化芸術活動への支援（社）
◆ 出展数が減少しているため、増加する取り組みを行う
主要事業： ② 巡回音楽会の開催（社）
◆ 今年で40回目を迎え、子どもたちに一流の芸術文化を鑑賞する機会を継続して実施する
主要事業： ③ 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公）
◆ 参加団体以外の来場者の増加（子ども出演の舞台が終わると来場者が急激に減る）
◆ 参加団体の協力体制の確立
主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久）
◆ 来場者を増加させるため、文化ホール事業の有効的なPR
◆ 町民が見たり、聞きたくなるような文化ホール事業の誘致（補助金等利用）
◆ コロナ禍での取り組みが必要になってくる
主要事業： ⑤ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）
◆ 魅力ある企画展にするため、展示方法を工夫すると共に情報発信に努める

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	6	地域の歴史を学ぶ文化財の活用		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 日本遺産発信推進事業 ② 豊後森藩資料館の運営 ③ 角牟礼城跡の整備 ④ 旧久留島氏庭園の整備 ⑤ 指定文化財の保護や保存継承支援
前年度整理した課題	① 郷土教育の場をつくる ② 来場者数の増加 ③ 本丸へ続く作業道工事 ④ 旧久留島氏庭園整備計画の策定 ⑤ 新たな指定文化財の発掘

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 日本遺産発信推進事業
◆ こどもガイド講習会を3回実施。
主要事業： ② 豊後森藩資料館の運営
◆ 展示内容の検討と展示替え
◆ 御城印の作成
主要事業： ③ 角牟礼城跡の整備
◆ 本丸作業道の工事契約及び進捗管理委託契約
◆ 角牟礼城跡保存整備検討委員会の開催（緊急事態宣言化における移動制限と大雪により書面開催に変更）
主要事業： ④ 旧久留島氏庭園の整備
◆ 旧久留島氏庭園整備基本計画策定委員会の開催（12月、3月）
主要事業： ⑤ 指定文化財の保護や保存継承支援
◆ 伐株山城の町指定に向けた協議
◆ 町内指定文化財への支援

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 郷土教育の開催	回	3	日本遺産協議会の目標数
② 来場者数の増加	人	3,600	展示替えによる来場者の増加
③ 作業道工事の完成	%	100	工事の進捗100%
④ 整備及び計画策定委員会の開催	回	3	角牟礼城跡1回、旧久留島氏庭園2回
⑤ 新指定に向けた文化財の選定	件	1	伐株山城跡の調査

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 郷土教育の開催	回	3	3	100	◎	B	B
② 来場者数の増加	人	3,600	2,137	59	×		
③ 作業道工事の完成	%	100	100	100	◎		
④ 整備及び計画策定委員会の開催	回	3	3	100	◎		
⑤ 新指定に向けた文化財の選定	件	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 日本遺産発信推進事業
◆ 「やばはく」の実施
主要事業： ② 豊後森藩資料館の運営
◆ 久留島武彦記念館と連携した展示内容の検討を行う
◆ 周辺文化財を活かした展示を検討する（角牟礼城跡、旧久留島氏庭園のガイダンス機能）
主要事業： ③ 角牟礼城跡の整備
◆ 史跡角牟礼城跡保存活用計画に基づく整備の実施を行う
主要事業： ④ 旧久留島氏庭園の整備
◆ 旧久留島氏庭園整備基本計画の策定
主要事業： ⑤ 指定文化財の保護や保存継承支援
◆ 町内の歴史、文化財について、小学校、中学校での出前講座の開催を行う
◆ 伐株山城跡の詳細な地形調査、史跡指定のための協議

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	公民館班 わらべの館
中項目（方針）	7	生涯学習を保障する図書館サービス網の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① わらべの館の図書の実充（わ） ② くすまちメルサンホール図書室の実充と利用者の拡大（公） ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ） ④ 各自治会館との連携・協議（わ） ⑤ わらべの館移動図書館車の活用（わ） ⑥ 図書館サービスのあり方について連携・協議（公）（わ）
前年度整理した課題	① 電子図書館サービスの導入を検討する ② 貸出冊数を増加、利用者数の増加、図書冊数の増加 ③ — ④ — ⑤ — ⑥ —

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① わらべの館の図書の実充（わ） ◆ テーマ展示で利用者の興味関心を促す ◆ 調査相談と県内図書館との連携で利用者ニーズに答える ◆ 貸出冊数の増を目指す ◆ 来館せずに貸出・返却が行える電子図書館サービスの導入を検討する
主要事業： ② くすまちメルサンホール図書室の実充と利用者の拡大（公） ◆ 新刊リクエスト調査、図書室利用者アンケートの実施 ◆ プライベート空間確保のための、間仕切り版設置
主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ） ◆ 新刊購入時のネット注文協議（公） ◆ 相互協力にむけた協議を行う（わ）
主要事業： ④ 各自治会館との連携・協議（わ） ◆ 相互協力にむけた協議を行う
主要事業： ⑤ わらべの館移動図書館車の活用（わ） ◆ 新規ステーションの設置を目指す ◆ 団体貸出の呼びかけ
主要事業： ⑥ 図書館サービスのあり方について連携・協議（公）（わ） ◆ 未実施（公） ◆ 相互協力にむけた協議を行う（わ） ◆ 玖珠町公立図書館基本計画（案）の作成（わ）

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① テーマ展示の回数（わ）	回	36	毎月三回以上のテーマ展示
① 調査相談と県内図書館との連携（わ）	式	1	県内図書館からの借受と貸出を円滑におこなう
① 貸出冊数の増（わ）	冊	47,944	昨年実績以上の貸出
① 電子図書館サービス導入の検討（わ）	式	1	県内導入館の調査と導入の検討
② 利用者数（公）	名	770	過去の最大利用者年（平成28年度基準）
② 貸出冊数（公）	冊	1,772	過去の最大利用者年（平成28年度基準）
③ 相互協力をむけた協議（わ）	式	1	中央公民館図書室との連携を協議する
④ 相互協力をむけた協議（わ）	式	1	各自治会館と連携にむけた協議を行う
⑤ 新規ステーション増（わ）	箇所	2	移動図書館新規ステーションの増
⑤ 新規団体貸出施設の増（わ）	箇所	3	移動図書館新規団体貸出の増
⑥ 相互協力をむけた協議（わ）	式	1	図書館サービスにむけて、関係者と協議
⑥ 玖珠町公立図書館基本計画（素案）の作成（わ）	式	1	図書館サービス網の構築のためのたたき台作成

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① テーマ展示の回数（わ）	回	36	37	103	◎	B	B
① 調査相談と県内図書館との連携（わ）	式	1	1	100	◎		
① 貸出冊数の増（わ）	冊	47,944	48,089	100	◎		
① 電子図書館サービス導入の検討（わ）	式	1	1	100	◎		
② 利用者数（公）	名	770	540	70	△		
② 貸出冊数（公）	冊	1,772	1179	67	△		
③ 相互協力をむけた協議（わ）	式	1	1	100	◎		
④ 相互協力をむけた協議（わ）	式	1	0	0	—		
⑤ 新規ステーション増（わ）	箇所	2	2	100	◎		
⑤ 新規団体貸出施設の増（わ）	箇所	3	4	133	◎		
⑥ 相互協力をむけた協議（わ）	式	1	0	0	×		
⑥ 玖珠町公立図書館基本計画（素案）の作成（わ）	式	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① わらべの館の図書の充実（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ テーマ展示のさらなる工夫 ◆ 県下図書館間の相互貸借システムを広く町民に広報する ◆ 町民一人当たりの年間貸出冊数の増を目指す ◆ 住民ニーズに合致した選書と予算の確保

<p>主要事業： ② くすまちメルサンホール図書室の充実と利用者の拡大（公）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ メルサンホール図書室のPR（広報くす、HP、来場者への周知等） ◆ 新刊情報等の告知
<p>主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 図書室（図書館）周知に伴う連携協議（公） ◆ 図書の相互運用に着手する（わ） ◆ 中央公民館図書室への返却ボックスの設置の検討（わ）
<p>主要事業： ④ 各自治会館との連携・協議（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 相互協力にむけた協議を行う（わ）
<p>主要事業： ⑤ わらべの館移動図書館車の活用（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 学校統合に伴うステーション数の減を補う取り組み ◆ 団体貸出による移動図書館業務の運用の効率化
<p>主要事業： ⑥ 図書館サービスのあり方について連携・協議（公）（わ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 各自治会館とメルサンホールの図書室のあり方等について協議・連携（公） ◆ 図書館サービスのあり方について連携・協議を具体的に進める（わ） ◆ 玖珠町公立図書館基本計画（案）の協議（わ）

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	指導班
中項目（方針）	1	学校教育における人権教育の充実		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進 ② 部落差別解消に向けた定期的な教職員研修の実施 ③ 若手教職員の育成の中での部落差別解消のための人権教育の充実
前年度整理した課題	① — ② — ③ —

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 部落差別問題に関する人権を課題とする授業を実施する
主要事業： ② 部落差別解消に向けた定期的な教職員研修の実施
◆ 教職員研修の実施する
主要事業： ③ 若手教職員の育成の中での部落差別解消のための人権教育の充実
◆ 部落差別解消推進指導員を全小中学校へ計画的に派遣する

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 部落差別問題に関する授業の実施	校	8	全小中学校で年1回以上実施する
② 教職員研修の実施	回	1	全教職員を対象とした研修 年1回
③ 部落差別解消推進指導員の派遣	校	8	全小中学校に1回以上派遣する

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 部落差別問題に関する授業の実施	校	8	8	100	◎	A	A
② 教職員研修の実施	回	1	1	100	◎		
③ 部落差別解消推進指導員の派遣	校	8	8	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 各学校において人権教育に係る年間指導計画を作成し、継続した人権教育が実施できた
主要事業： ② 部落差別解消に向けた定期的な教職員研修の実施
◆ 人権差別における大きな問題の一つとして、教職員研修を行った
主要事業： ③ 若手教職員の育成の中での部落差別解消のための人権教育の充実
◆ 部落差別解消推進員を派遣し、若手及び玖珠町での勤務が初めての教職員も含めて、認識を深める研修を実施した

令和3年度（令和2年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	2	あらゆる場における人権教育の推進		

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 人権公開講座の開催 ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載 ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
前年度整理した課題	① 参加者が増加する取り組み ② 継続した取り組み ③ 「差別をなくす人権標語」の表彰式実施

2. 令和2年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 人権公開講座の開催
◆ 年6回実施
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 年12回掲載
主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
◆ 「人権を考える町民のつどい」12月2日実施時に入選作の表彰式を実施する

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 人権公開講座受講者数	人	297	297人（令和元年度）同数
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12回（令和元年度）毎月掲載 427回（R3.2月号）
③ 「人権標語」の表彰実施	回	1	年1回

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 人権公開講座受講者数	人	297	321	108	◎	A	A
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12	100	◎		
③ 「人権標語」の表彰実施	回	1	1	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 人権公開講座の開催
◆ 各学校・P T Aの協力により参加者を確保できた
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 小中学校の協力により継続していく
◆ 学校教育における人権教育及び広報掲載により人権について考える機会を提供できた
主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
◆ 人権確立・部落差別解消推進課と連携し「人権を考える町民のつどい」に人権標語の表彰式を実施した